
2012年3月期 決算説明会

2012年5月18日
蛇の目マシン工業株式会社

2012年3月期 連結決算概要

2012年3月期 連結決算の要点

経営環境

- 歴史的な円高水準という逆風
- 東日本大震災後の部品供給網の乱れ
- 電力供給規制等による国内生産活動の低下

施策展開

- 最高級ミシン MC12000の海外市場投入
- 新興国市場開拓の一環の南米統括事務所設置
- 産業機器販売拡大に向けた中国拠点設立



➤ **ミシン、産業機器製品の販売台数は史上最高を記録**
 【ミシン:190万台(前期比14万台増)、産機製品:4千台(前期比1千台増)】

➤ **売上高、営業利益、経常利益は前期比増収・増益**

➤ **当期純利益は前期比大幅減**

✓ **特別損失の計上**

<u>事業再編損</u>	750(百万円)
--------------	----------

<u>退職給付制度終了損</u>	240(百万円)
------------------	----------

✓ **実効税率変更に伴う繰延税金資産の取り崩し**

<u>法人税等調整額</u>	210(百万円)
----------------	----------

業績概要



(百万円)

	10年3月期	11年3月期	12年3月期	増減 (前期比)
売上高	35,746	36,094	37,040	946
売上原価 売上原価率	21,195 59.3%	20,685 57.3%	21,467 58.0%	782 0.7P増
営業利益 営業利益率	1,341 3.8%	2,115 5.9%	2,331 6.3%	216 0.4P増
経常利益 経常利益率	957 2.7%	1,592 4.4%	2,078 5.6%	486 1.2P増
当期純利益	529	799	184	△615
為替レート (円/US\$)	92.84	85.71	79.06	△6.65

営業利益の増減要因

(百万円)

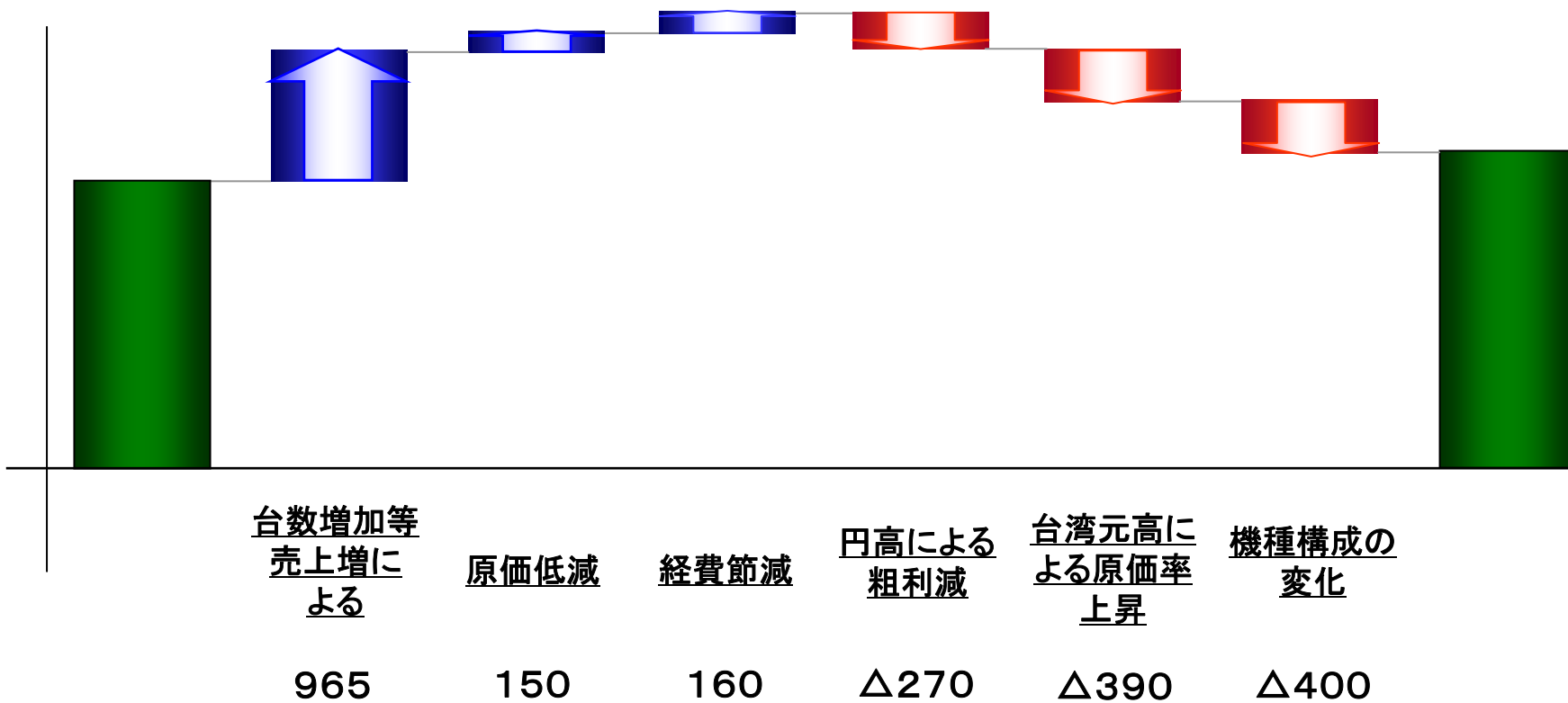
11/3期

216百万円の増益

12/3期

2,115

2,331



事業セグメント別業績

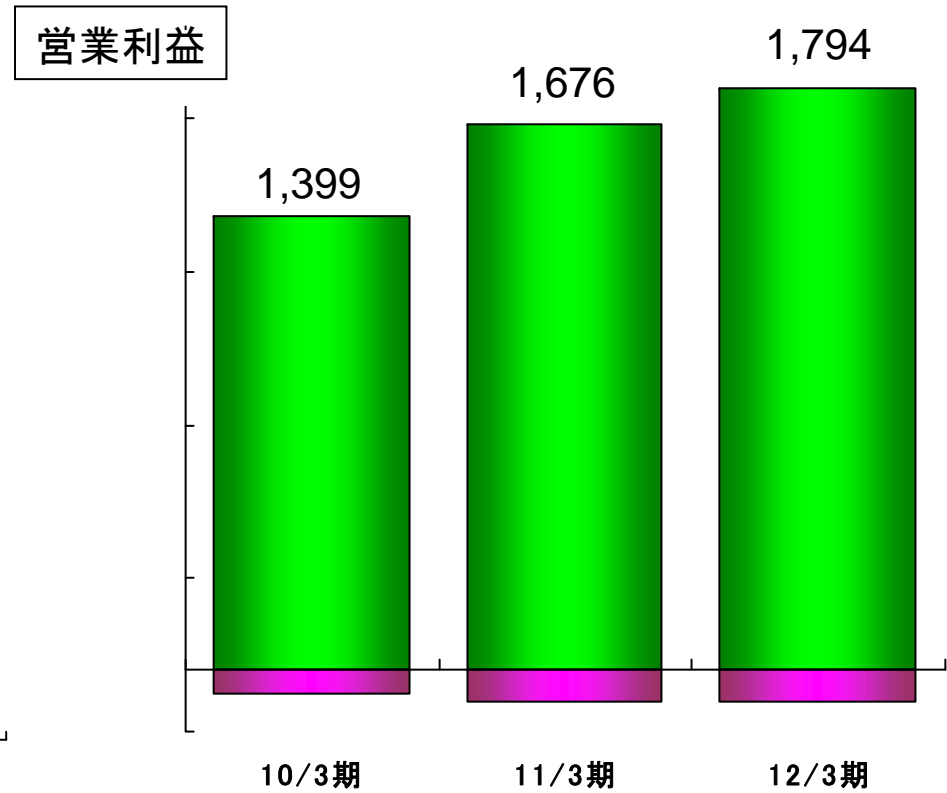
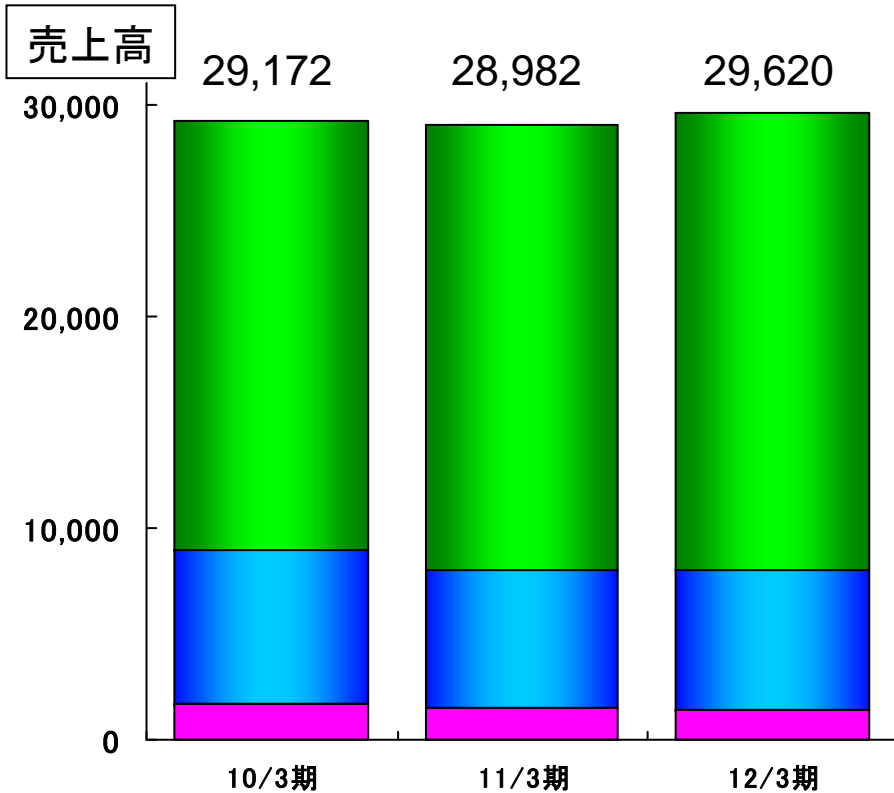
(百万円)

		10年3月期	11年3月期	12年3月期	増減 (前期比)
家庭用機器	売上高	<u>29,172</u>	<u>28,982</u>	<u>29,620</u>	638
	営業利益	<u>1,399</u>	<u>1,676</u>	<u>1,794</u>	118
産業機器	売上高	<u>3,047</u>	<u>4,225</u>	<u>4,562</u>	337
	営業利益	<u>△ 116</u>	<u>444</u>	<u>544</u>	100
その他	売上高	<u>3,526</u>	<u>2,886</u>	<u>2,857</u>	△29
	営業利益	<u>56</u>	<u>49</u>	<u>27</u>	△22
合計	売上高	<u>35,746</u>	<u>36,094</u>	<u>37,040</u>	946
	営業利益	<u>1,341</u>	<u>2,115</u>	<u>2,331</u>	216

※営業利益合計数字にはセグメント間取引消去を反映

セグメント別売上高・営業利益【家庭用機器】

(百万円)



* 売上高明細(億円)

	10/3期	11/3期	12/3期
海外ミシン	202	209	216
国内ミシン	72	65	66
24風呂、整水器	17	15	14

* 営業利益明細(億円)

	10/3期	11/3期	12/3期
ミシン関連	14.7	17.7	18.9
24風呂、整水器	△0.7	△1.0	△1.0

【海外ミシン販売】

- 積極的な販売展開で、新興国市場を中心に販売台数増加
- 円高の中、売上高、営業利益は新機種の発売等により増加

【国内ミシン販売】

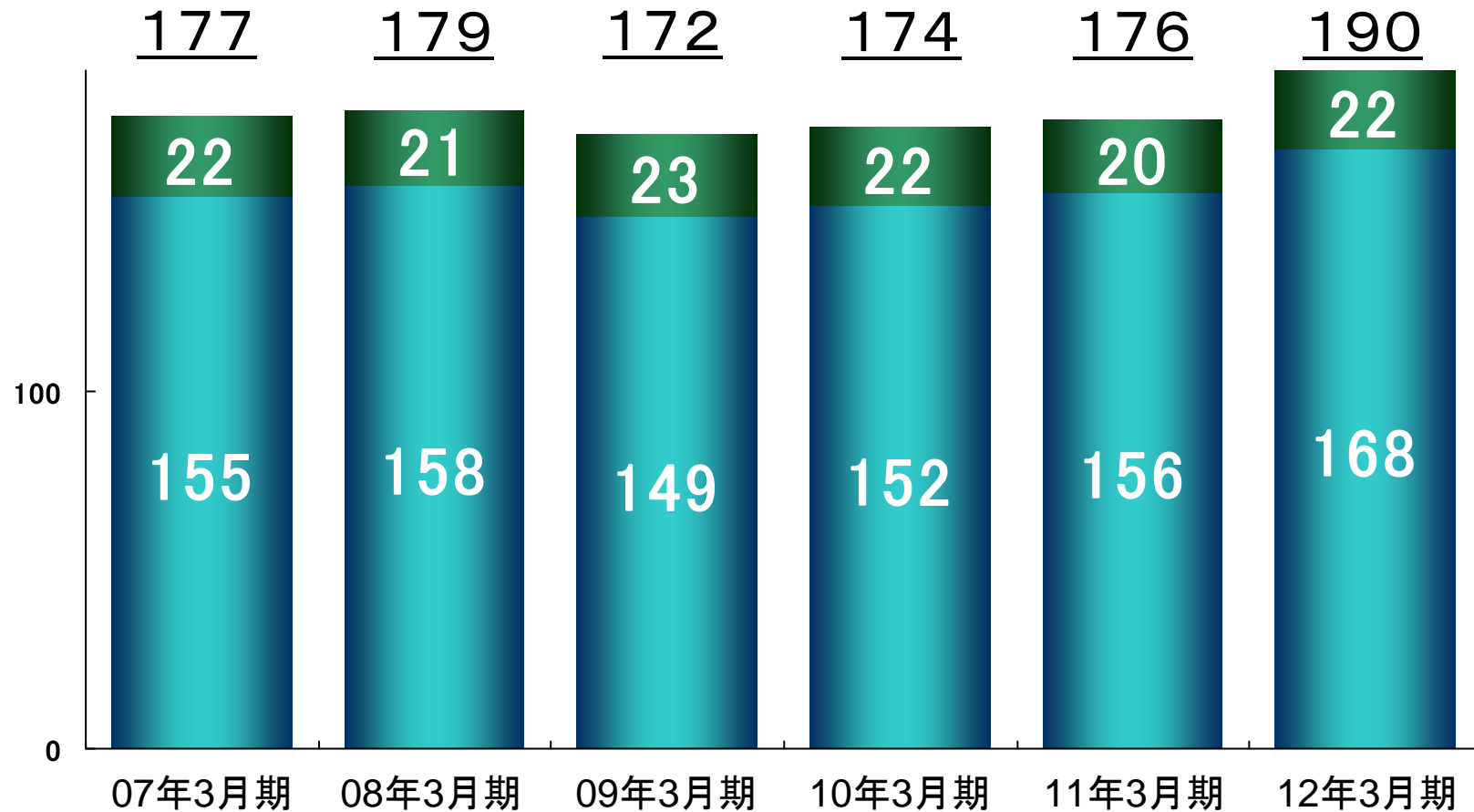
- 国内市場は震災以降、消費者の節約意識の高まりが影響

ミシン販売台数推移



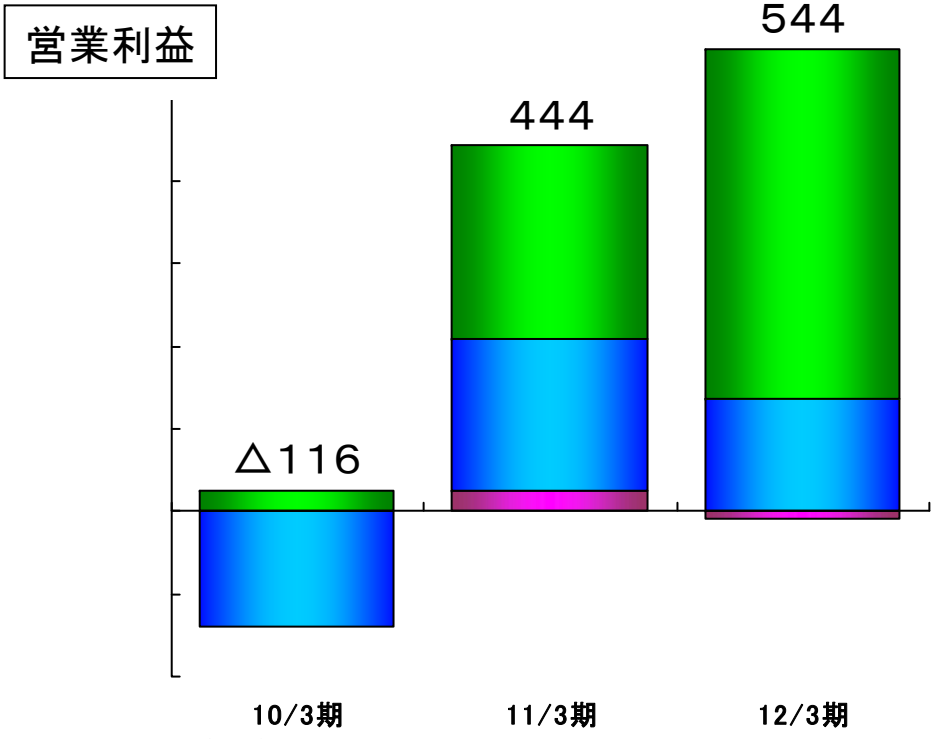
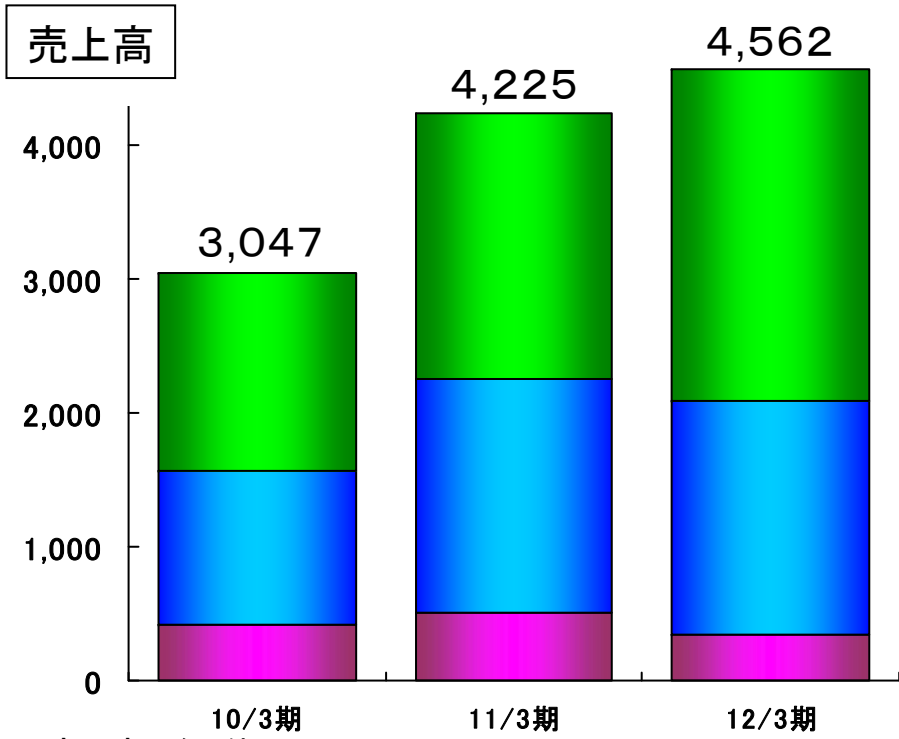
単位:万台

海外 国内



セグメント別売上高・営業利益【産業機器】

(百万円)



* 売上高明細(億円)

	10/3期	11/3期	12/3期
ロボット・プレス	15	20	25
ダイカスト事業	11	17	17
その他	4	5	3

* 営業利益明細(億円)

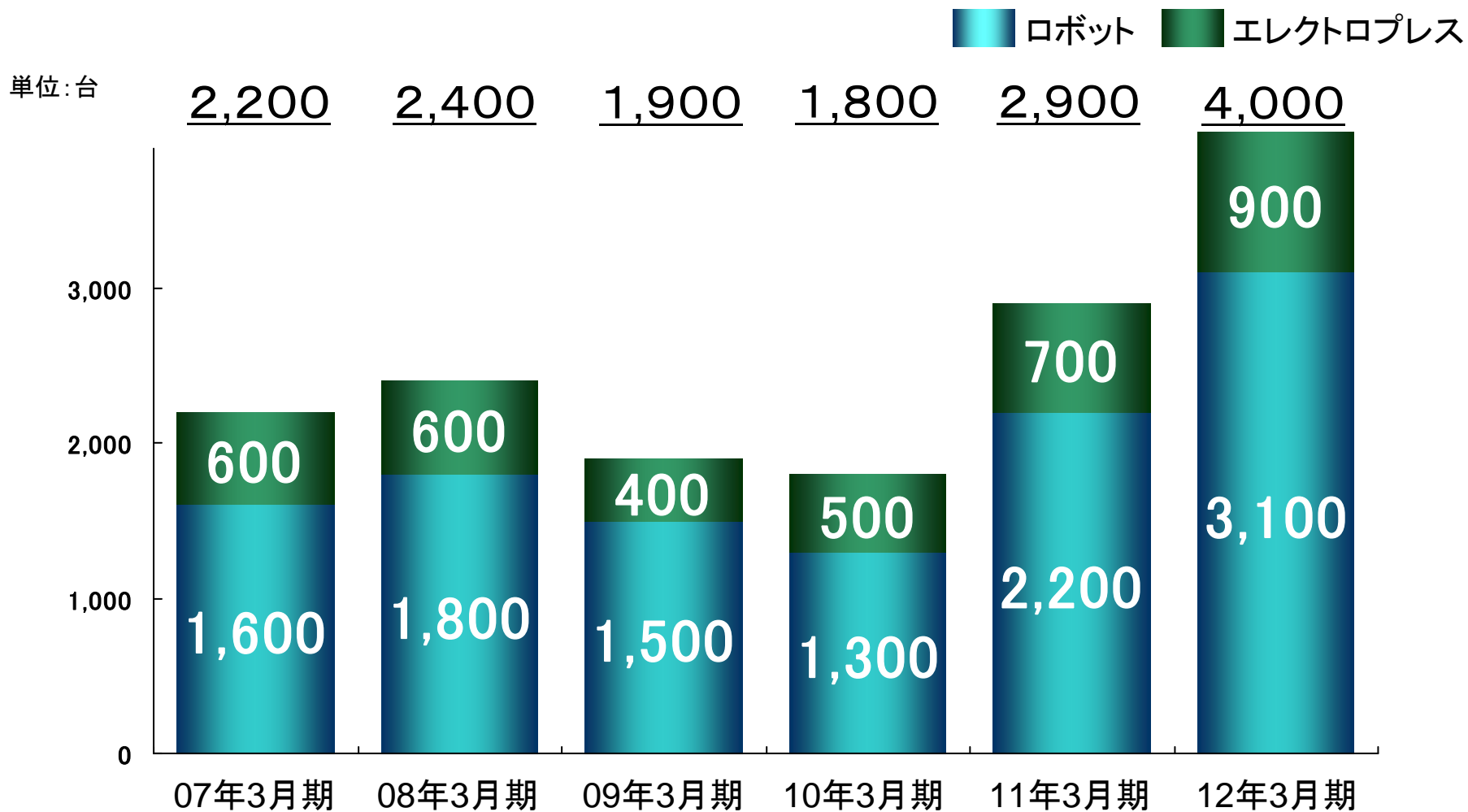
	10/3期	11/3期	12/3期
ロボット・プレス	0.2	2.4	4.2
ダイカスト事業	Δ1.4	1.8	1.3
その他	0.0	0.2	Δ0.1

【卓上型ロボット・エレクトロプレス販売】
 ▶ 中国や韓国等のアジア市場を中心に好調に推移

【ダイカスト事業】
 ▶ 震災やタイの洪水による影響で、自動車関連を始めとする国内企業の生産調整等により減益

ロボット・エレクトロプレス販売台数推移

JANOME



貸借対照表(連結)

(百万円)

	2011年3月期 期末	2012年3月期 期末	増減
資産の部			
流動資産	19,385	20,568	1,183
固定資産	29,704	29,099	△605
資産合計	49,090	49,668	578
負債の部			
流動負債	16,937	17,830	893
固定負債	18,036	16,982	△1,054
負債合計	34,973	34,812	△161
純資産の部			
資本金	11,372	11,372	—
利益剰余金・自己株式	△2,499	△2,294	204
その他	5,242	5,777	535
純資産合計	14,116	14,855	739
負債・純資産合計	49,090	49,668	578

キャッシュフロー(連結)



(百万円)

	2011年3月期	2012年3月期
営業活動によるキャッシュフロー		
税金等調整前当期純利益	1,371	1,027
減価償却費	926	950
退職給付引当金増減額	△ 93	225
売上債権の増減	216	△ 709
たな卸資産の増減	△ 84	△ 1,314
仕入債務の増減	154	729
その他	220	△ 88
営業活動によるキャッシュフロー	2,710	820
投資活動によるキャッシュフロー		
有形固定資産の売却	185	111
その他	△ 975	△ 959
投資活動によるキャッシュフロー	△ 789	△ 847
財務活動によるキャッシュフロー		
有利子負債の増減	△ 1,856	△ 847
その他	△ 22	△ 20
財務活動によるキャッシュフロー	△ 1,878	△ 868
現金及び現金同等物の期末残高	6,792	5,885

2013年3月期 通期業績見込み

2013年3月期 通期見込みの要点

経営環境

- 欧州債務問題が解決せず、欧米を中心に景気低迷の長期化を懸念
- 超円高水準の定着など、引き続き厳しい事業環境を想定
- ミシンの低価格化、産業機器製品の価格競争が激化

施策展開

- 将来の安定した収益基盤構築に向けた製品販売台数の大幅な増加、市場シェアの拡大
- 徹底した製造コスト削減による価格競争力の強化
- 付加価値の高い製品の販売強化

通期業績見込み(連結)

(百万円)

	12年3月期 実績	13年3月期 計画	増減 (前期比)
売上高	37,040	39,000	1,960
営業利益 営業利益率	2,331 6.3%	2,400 6.2%	69 0.1P減
経常利益 経常利益率	2,078 5.6%	2,000 5.1%	△78 0.5P減
当期純利益	184	800	616
為替レート (円/US\$)	79.06	77.00	△2.06

事業セグメント別業績見込み



(百万円)

		12年3月期	13年3月期	増減 (前期比)
家庭用機器	売上高	<u>29,620</u>	<u>30,600</u>	980
	営業利益	<u>1,794</u>	<u>1,820</u>	26
産業機器	売上高	<u>4,562</u>	<u>5,300</u>	738
	営業利益	<u>544</u>	<u>600</u>	56
その他	売上高	<u>2,857</u>	<u>3,100</u>	243
	営業利益	<u>27</u>	<u>30</u>	3
合計	売上高	<u>37,040</u>	<u>39,000</u>	1,960
	営業利益	<u>2,331</u>	<u>2,400</u>	69

※営業利益合計数字にはセグメント間取引消去を反映

中期経営計画 進捗状況①

【損益】(百万円)

	11/3期		12/3期		13/3期	
	中計	実績	中計	実績	中計	計画
売上高	37,000	36,094	38,000	37,040	42,000	39,000
営業利益	1,800	2,115	2,200	2,331	3,500	2,400
営業利益率	4.9%	5.9%	5.8%	6.3%	8.3%	6.2%
経常利益	1,200	1,592	1,800	2,078	3,200	2,000
経常利益率	3.2%	4.4%	4.7%	5.6%	7.6%	5.1%

【台数】 ミシン:(万台) ロボット・プレス:(台)

ミシン	180	176	200	190	230	220
ロボット、 エレクトロプレス	2,900	2,900	4,000	4,000	5,400	5,400

中期経営計画 進捗状況②



		11/3期	12/3期		13/3期	
		実績	中計	実績	中計	計画
有利子負債	(百万円)	19,159	16,600	18,453	15,700	17,700
D/Eレシオ	(倍)	1.4	1.1	1.3	0.9	1.2
債務償還年数(※)	(年)	6.5	5.6	7.2	4.4	5.9
インフレスタカバレッジレシオ	(倍)	6.5	5.4	2.0	5.6	5.7
自己資本	(百万円)	13,602	14,400	14,348	16,100	15,150
自己資本比率	(%)	27.7	30.4	28.9	34.7	30.8
ROA(総資本経常利益率)	(%)	3.2	3.8	4.2	6.7	4.1
ROE(自己資本経常利益率)	(%)	11.7	12.5	14.5	19.8	13.2
たな卸資産回転期間	(月)	1.8	1.8	2.2	1.7	2.1

(※)有利子負債／EBITDA

【家庭用機器事業】

○家庭用ミシンのトップ・メーカーを目指して

【海外市場】

- 新興国市場での更なる販売拡大へ向けた戦略機種への投入
- 昨年10月に発売した最高機種MC12000の拡販
- キルト市場向け機種、刺しゅう専用機等の新機種の市場投入
- エルナブランド再構築へ向けた新機種(エルナ ロータス)投入

【国内市場】

- 国内市場でのトップシェア奪回を目指す
- 販売形態の多様化(路面代理店、手芸量販店、ネット・通販他)に対応した製品ラインアップの充実による販売拡大
- JFC(ジャノメ・ファミリー・クラブ)の拡大・充実によるディーラーとの協力関係強化

【産業機器事業】

○家庭用機器事業に次ぐ二本目の柱を目指して

- 中国を始めとするアジア市場における更なる販売拡大
- 中国市場におけるサービス・販売拠点として昨年設立したJIE-上海の拡充
- エレクトロプレスJP-Sシリーズのラインアップ拡充による販売強化
- 廉価版を含む卓上ロボットの製品ラインアップ拡充による更なる販売拡大

本日は誠にありがとうございました。



本資料で記述されている計画・予測等は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。
 そのため、実際の業績は、様々な要因により記述されている計画・予測等とは、大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
 なお、実際の業績に影響を与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等が含まれます。